



一般社団法人

日本市場創造研究会

## 第6回研究発表会

1. 日時: 2016年11月26日(土) 10:00~17:50 ※交流会(別会場) 18:30~20:30
  2. 発表会会場: 慶應義塾大学 三田キャンパス 西校舎および第一校舎  
☆本会場 西校舎 **528教室**, ☆Q&Aセッション会場 第一校舎 **104教室**  
会場アクセス <http://www.keio.ac.jp/ja/access/mita.html>  
【住所】 〒108-8345 東京都港区三田2-15-45  
【交通アクセス】 田町駅(JR山手線/JR京浜東北線)徒歩8分  
三田駅(都営地下鉄浅草線/JR京浜東北線)徒歩7分  
赤羽橋駅(都営地下鉄大江戸線)徒歩8分
  - 3.参加費: どなた様も**無料**です。当研究会の会員でない方もご参加いただけます。
  - 4.お申込み: 事務局( [info@shijo-sozo.org](mailto:info@shijo-sozo.org) )まで、メールにてご一報ください。  
※飛び入り参加も可能ですが、できるだけ前日までに事前登録くださいますようお願い申し上げます。  
また、資料準備の関係上、11月15日までにご登録いただけますと、よりありがたいです。
- 【事務局】 一般社団法人 日本市場創造研究会 (担当:前田)  
Email: [info@shijo-sozo.org](mailto:info@shijo-sozo.org)

# プログラム

※発表の順序や内容が変更になる場合がございますので、予めご了承ください。

10:00－10:10	開会挨拶	藤崎義久市創研会長	
10:10－10:45	第4分科会	福島常浩	ビッグデータによる新商品と成功率の実態研究
10:45－11:20	第7分科会	町田雅之, 安達宏	新市場創造のための新技術の研究
11:20－11:55	第8分科会	清水孝洋	独創力の研究
11:55－12:30	第10分科会	荒生 均	フォーサイト(未来洞察)研究
12:30－13:20		< 昼 食 >	
13:20－13:55	第2分科会	名越稻美	市場創造に向けた消費者洞察法の研究
13:55－14:30	絵馬にみる日本人のこころ研究会	加藤寛之	恋愛絵馬に見るニーズ分析 続編 ～隠れていた!?「予防ニーズ」～
14:35－15:25		【 Q&Aセッション 】	(場所:第一校舎 104教室)※別棟の会場です。
15:30－15:35		【『市場創造研究 梅澤伸嘉賞』授賞式】	
		受賞論文:「文脈価値の継続的創造をもたらすコンセプトの特徴」※次頁に論文要旨がございます。	
		著者:加藤雄一郎様、松村喜弘様	
15:35－16:20		加藤雄一郎様	『市場創造研究 梅澤伸嘉賞』受賞記念講演
16:20－16:30		< 質疑応答 + 休 憩 >	
16:30－17:30	特別講演	梅澤伸嘉代表理事	MIP のれんシェアシステム －複数の企業が協力して市場を創造し、自己増殖して聖域を目指す仕組み－
17:30－17:40		< 質疑応答 >	
17:40－17:50	閉会挨拶	広浦康勝市創研副会長	
18:30－20:30		【 交流会 】	(場所「中国飯店」)※会費5000円(税込)、事前お申し込みの方のみ、先着30名様です。

# 文脈価値の継続的創造をもたらす コンセプトの特徴

加藤 雄一郎

名古屋工業大学大学院 工学研究科 産業戦略工学専攻 准教授 / 株式会社大広 ビジネスナレッジ局 客員研究員

松村 喜弘

名古屋工業大学大学院 工学研究科 産業戦略工学専攻 博士前期課程

## ■ 要旨

脱コモディティ化を目指す新たな価値創造として「カテゴリー・イノベーション」が注目されている。市場を支配する旧来の価値次元を新たな価値次元へと転換し、その新たな価値の実現が特定少数の要因で説明できないという特徴をもつカテゴリー・イノベーションは、持続的な脱コモディティ化をもたらすと期待されている。この取組みの出発点は、顧客が製品・サービスの使用経験を通じて得られる価値に着目したコンセプトの設計にあると考えられていることから、本研究では Apple を事例として取り上げ、カテゴリー・イノベーションの出発点となるコンセプトの特徴を明らかにすることを試みた。考察の結果、Apple がコンセプトとして表現していることは、顧客にどのような生活を送ってほしいかに関する企業としての意図であり、この意図が顧客が共有する「文脈価値の共創方針」としての役割を担うことが持続的な脱コモディティ化をもたらすという考えを導くに至った。

## ■ キーワード

脱コモディティ化、価値創造、コンセプト、文脈価値、サービス・ドミナント・ロジック